

科目名称	老年看護援助論（日常生活ケア）
授業コード	BK263
英語名称	
学期	2024年度後期
単位	1.0
担当教員	大原 裕子, 安川 揚子, 山田 正己
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	この科目は、加齢や疾病によって健康障害を有する高齢者一人ひとりが豊かな老いを生きられるようなQOLの向上を目指し、個別性を踏まえた質の高い看護を実践するための知識・技術を学ぶ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	この科目は、看護師として高齢者看護における臨床経験を有する教員(大原、山田、老年教員)が担当する。
到達目標	ディプロマポリシーのひとつである「科学的な根拠に基づき、対象者の健康と生活の質を高める看護を実践するための論理的思考力、基本的な問題解決能力を修得している」に到達できるように、高齢者のヘルスニーズや社会生活を視野に入れ、その人らしく生きるためのケアを実践するための科学的な専門知識・技術を修得する。
計画・内容	<p>第1回：ガイダンス / 高齢者への生活行動援助のための看護技術 清潔・整容のケア 大原</p> <p>第2回：認知症高齢者への看護 老年教員</p> <p>第3回：高齢者とのコミュニケーション 老年教員</p> <p>第4回：高齢者への生活行動援助のための看護技術 アクティビティケア 山田</p> <p>第5回：高齢者への生活行動援助のための看護技術 排泄のケア 老年教員</p> <p>第6回：高齢者への生活行動援助のための看護技術 食事のケア 山田</p> <p>第7回：高齢者への生活行動援助のための看護技術 休息のケア 大原</p> <p>第8回：介護保険施設における看護 山田</p>
授業の進め方	授業は原則、講義形式で進めるが演習も取り入れる。講義は、教科書と配布資料を中心に行い、随時視覚教材を用いる。また、学生への質問も活発に行う予定なので、積極的な授業態度が期待される。講義のあとに一部課題レポートを行うことで知識の定着を確認する。
能動的な学びの実施	授業では、学生への質問も活発に行う予定であるため、積極的な授業態度が期待される。さらに、それらを通して自己の学びを深めていく姿勢が望まれる。

授業時間外の学修	予習：各回1時間程度、教科書にて講義範囲を学習する。 復習：各回1時間程度、配布された資料を再読し学習する。課題レポートのある授業では、自己の学修レベルに応じた学びが必要となる。
教科書・参考書	教科書：看護実践のための根拠がわかる老年看護技術（メヂカルフレンド社）
成績評価方法と基準	定期試験（80％）、授業後の課題（20％）
課題等に対するフィードバック	リアクションペーパーの内容を授業に反映させる。また必要に応じて追加の資料を配布する場合もある。
オフィスアワー	Campus Square 参照
留意事項	高齢者の日常生活ケアに関する基本的事項を学ぶ授業であるため、欠席しないこと。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	オンラインにて講義・演習を行う。 成績評価方法や基準は対面授業の場合と同様とする。